

第2回 調布市総合計画策定産学官連携会議 議事要旨

1 日 時：令和3年11月4日（木）13:00～14:30

2 場 所：調布市役所5階 市長公室

3 出席者：

【委員】

小柳会長（調布市 行政経営部）

佐藤副会長（アフラック生命保険株式会社）

相原委員（東日本電信電話株式会社）

大前委員（特定非営利活動法人調布市地域情報化コンソーシアム）

二羽委員（京王電鉄株式会社）

森倉委員（国立大学法人電気通信大学）

（順不同）

【事務局】

行政経営部）永井次長兼企画経営課長

行政経営部企画経営課）伊藤計画調整担当課長，中山主幹，村岡課長補佐，福岡係長，
粟野主査，森主任，長野主事，本間行政実務研修員

4 議 題：

- (1) 開会
- (2) 市民会議の検討状況の共有
- (3) 調布市の強み・弱みについて
- (4) その他
- (5) 閉会

5 資 料：

資料1-1 策定までのスケジュール

資料1-2 今後の協議イメージ

資料2-1 調布市の強み・弱み（市民会議 分科会1）

資料2-2 調布市の強み・弱み（市民会議 分科会2）

資料2-3 調布市の強み・弱み（市民会議 分科会3）

資料3 第3回調布市総合計画策定産学官連携会議に向けたお願い

議 事：

1 開会	
(事 務 局)	今回は初めてのオンサイト会議。委員全員出席。 会議の内容について、後日議事要旨を公開する。
2 市民会議の検討状況の共有	
3 調布市の強み・弱みについて	
(事 務 局)	市民会議の検討状況と市民会議で出された分科会ごとの意見について、事務局より説明。その後、各委員より調布市の強み・弱みについての意見を伺った。
(委員の意見)	【強み】 (全般) <ul style="list-style-type: none">・生産年齢人口・総人口とも増加している。多摩地区内でも増加率が高い・デジタルで繋いでいくと、テーマごとの課題解決になりうると思う・災害時のフェーズフリーの取組・駅周辺について。世田谷区や杉並区は「住宅地」、府中・多摩センターなどは「事業所」に特化した感があるが、調布市は両面あってバランスの良い街・緑が多くて都心に近い (文化・産業関連) <ul style="list-style-type: none">・調布駅前の整備により、労働人口の増加も期待できる・自社内で調布市に居住している社員が多く、プレミアム付商品券が好評。他市区と比較して周知が進んでいる・文化施設、会議室が市の中心地にあるため、コミュニティが組成しやすい・地域メディアが充実している。イベント情報を一元化できる仕組みがある・事業所、企業を誘致する余地がある・観光地・スポーツ施設等があるので、他地域から来てもらえるまち (都市整備・環境関連) <ul style="list-style-type: none">・駅と商業施設が近接していて、コンパクトなまちづくりがなされている・ゴミのリサイクル率が高い・ゼロカーボンシティ宣言をし、自治体として積極的に取り組んでいく姿勢・市の中に鉄道と幹線道路(高速道路含む)があり、交通の便が良い・調布駅前広場の広さ、空の高さ。何でもできるスペース 【弱み・改善点】 (全般) <ul style="list-style-type: none">・地域活動のリーダー不足。青年会議所との連携等も含め、人財を育成していく態勢が必要・市役所全体の広報スキル・広報マインドの向上が必要

- ・緑が多くて都心に近いというメリットをアピールできていなくて勿体ない
- ・「バランスの良いまち」が「インパクトがないまち」になっている恐れ

(健康・福祉関連)

- ・東京都福祉保健局の資料によると、待機児童が多い(令和3年4月1日時点 46人(都内7番目に多い自治体), 令和2年4月1日時点 149人(都内4番目に多い自治体))

(観光・産業関連)

- ・各駅前について「面的な広がり」があるとよりよい
- ・「調布の名産品」として広く知られているものが少ない
- ・深大寺などの豊かな観光資源があるが、アピールが足りない

(都市整備・環境関連)

- ・空き家が多くある
- ・市の南北間の交通
- ・体育館などの公共施設が老朽化している
- ・旧甲州街道の歩道の狭さは課題
- ・ゼロカーボンについては、他自治体や市民へ見せていく姿が重要

【その他・自由意見】

- ・良いところはたくさんあるが、「一言で言うと〇〇」というものがあるとよい
- ・調布スマートシティ協議会などを通じて、『調布は「〇〇のまち」』というイメージ作りができると、仲間が集まってくる
- ・「強み」と「弱み」は分科会ごとに補完関係にあるように感じる
- ・観光やスポーツで人が集まる仕組みを作ることが重要
- ・ブランディングができると、夜間人口と昼間人口のバランスが良くなる
- ・高齢者のデジタル化を推進してくると良いと思う
- ・資源を有効活用して、人が集まる「仕掛け」ができるとよい
- ・福井県鯖江市の「メガネのまち」のようなブランディングが必要
- ・調布駅前広場という財産を活用すべき
- ・グリーンホールやたづくりなどの施設が調布駅から近いのは大変良いが、あまりにも至近であるがゆえ、周辺商店街などへの波及効果が少ないのではないかと
- ・味の素スタジアムと深大寺間の交通があるとよい
- ・「映画のまち」は大きな資産だが、もう少しアピールできると思う。現時点では調布駅周辺にとどまっていて、市内他地域への広がりが課題だと思う
- ・「ゼロカーボンシティ」は企業誘致にプラスになる(企業側からすると、進出する際の決め手になりうる)。再エネ100%のオフィスビルがあるとよい

4 その他	
(事務局)	<ul style="list-style-type: none"> ・次回の産学官連携会議について【資料3】の内容を説明。次回の会議では、「産学官連携により考えられるアイデア」と「個別の事案に関する各社(団体)の考え方」について各委員の意見を伺いたい。 ・次回の会議は12月20日の週での開催に向けて調整する
5 閉会	